

3月定例会の一般質問は10日および11日に行われました。紙面の都合により要約してお伝えします。
 なお、詳しい内容は吉岡町図書館に備えてある会議録で確認できます。
 また、平成21年第1回定例会以降の会議録は、吉岡町ホームページでもご覧になれます。

〔 一般質問項目一覧表 〕

■山畑 祐男議員	16ページ
1. 防災について	
2. 子供・子育て支援制度への対応は	
3. 来年度の大樹町との交流計画は	
4. 3期目に臨む町長の町政への方針について	
■飯島 衛議員	17ページ
1. 期日前投票について	
2. お年寄り用の安心カードの現状と対策について	
3. 老人会の現状について	
4. 学習支援事業をまちでも	
■石倉 實議員	18ページ
1. 吉岡町役場入口交差点の安全確保対策について	
2. 吉岡町の公園計画について	
3. 廃食用油のリサイクルについて	
4. 吉岡町役場女性職員の管理職への登用について	
5. 漆原地区の農道と生活道路の拡幅と舗装について	
■神宮 隆議員	19ページ
1. 政府の農業協同組合、農業委員会等の改革	
2. 女児誘拐未遂事件の対応	
3. まちのいじめ対策等について	
4. 町道上野田下野田線整備後の安全対策	
■岩崎 信幸議員	20ページ
1. 学童クラブの今後は	
2. 八幡山グラウンドの整備及び拡張について	
3. 道の駅よしか温泉の今後は	
4. 商業の振興について	
5. 防災対策は	
6. 女性が輝ける社会に	
7. 通学路の安全対策は	
■金谷 重男議員	21ページ
1. 8年で5つの公園建設に着手したが	
2. 防災公園のヘリポートの費用は	
3. 新産業ゾーンの構想はなかったのか	
4. 西部地域は伊香保を活用して	
5. 町長のマニフェストの達成は	
■小池 春雄議員	22ページ
1. 子育て支援策について	
2. 高齢者支援策について	
3. L E D化に伴う防犯灯の増設と無料化	



山畑祐男 議員

災害時での避難収容人数は

答 避難所は37施設で1万7000人

問 防災マニュアルは町民に周知されているか。

答 町民生活課長 防災ガイドは全世帯に配布している。周知されている。

問 東日本での災害実態をまちの防災計画に反映できないか。

答 町民生活課長 県が震災などの災害について見直している。出来上がり次第、まちでも見合うような防災計画を考えたい。

問 災害時での避難収容人数は。

答 町民生活課長 避難所は37施設で1万7000人。

問 備蓄食料は被災者の何人分か。

答 町長 備蓄は2万食である。

問 学校、保育園、幼稚園での備蓄は必要と
思うか。

答 町長 学校での備蓄は現在実施していない。

答 町民生活課長 2自治会が行っている。

問 幼稚園、保育園にも見守り隊の派遣は。

答 町長 派遣したい。

問 南下城山防災公園の進捗状況は。

答 町長 おおむね30%の進捗率である。買収済みの用地は1万4千平方メートル、買収費用は2億4千万円、うち1億2千万円が国からの補助金である。完成時のまちの支払いは3億6千万円を見込んでいます。

問 自治会の避難訓練の実態は。

子ども・子育て支援制度へのまちの対応は

財政的支援を実施したい

問 認定こども園への移行は。

答 健康福祉課長 研究中である。

問 北海道大樹町からのまちへの子ども達の訪問は。

答 町長 まちに来ていただきたく実現に向

問 町長就任2期8年の成果、反省点は。

答 町長 思うとおりにできなかつたものもたくさんあるが、あの手

での対処しなければ町長としての役目は務まらないのではと思う。



救護資材倉庫



学童クラブ



飯島 衛 議員

学習支援事業をまちでも実施しては

答 県の取り組みを見ながら対処したい

問 生まれ育った環境によって子どもが将来が左右されたり、教育の場

に家庭の経済力が影を落と

してはならない。ぜひ、ま

ちとして学習支援のポラン

ティア事業を推し進めるべ

きと思うが。

答 教育長 25年6月に「子どもの貧困対策の推進に関する法律」が制定された。まちでも県の取り組み状況を見ながら適切に対処したい。

問 15年12月に改正公職選挙法が施行され、選挙期日前の投票手続きの簡素化が図られた。さらに、利便性を高めたのが、前もって入場券の裏に宣誓書を印刷する方法である。渋川市、大泉町などが実施しているが、まちはどうか。

答 町長 高崎市、渋川市、安中市、藤岡市などで実施している。今後、

問 選挙管理委員会の中でも検討してもらいたいと思っ

答 総務政策課長 ハガキより一回り小さい入場券に印刷することで字の大きさが小さくなり、お年寄りには見えにくくなる心配もあるが、自宅などで記入していただいた場合、受付の待ち時間が短縮される面もある。今後、研究したい。

お年寄り用の「安心カード」の現状は

75歳以上の高齢者世帯に拡大し、現在472世帯に配布されている

問 「安心カード」事業（緊急医療情報カード配布事業）の現状は。

答 町長 民生委員さんの事業として472世帯に配布されている。

問 渋川広域で統一化したいとの話があるが、健康福祉課長 まちでは、独自に作成したものを使用しているが、民生児童委員協議会と相談し検討したい。

答 健康福祉課長 22年度では、会員数1110人、クラブ数16だったが、26年度は879人で、クラブ数が13、27年度に1クラブが連合クラブから脱退する。高齢者の実質現役や個人思考の多様化などの変化によるものと考えられる。



救急医療情報カード



いこいの家八幡



石倉 實議員

役場入口5差路の中学生の安全確保を

答 県の前橋伊香保線歩道整備に合わせて

問 役場入口5差路の中学生の安全確保を。
町長 県の前橋伊香保線歩道整備に合わせ、前向きに検討したい。

問 漆原地区に身近に遊べる公園が必要と思
町長 漆原地区には緑地運動公園や天神

東公園が整備されているが、さらなる要望があった場合、は、必要性を慎重に判断し対処していきたい。

廃食用油リサイクル化は

調査検討後実施を考えていきたい



役場入口5差路歩道整備

問 廃食用油のリサイクルが前橋市や渋川市では開始されているが、まちでは取り組めないか。
町民生活課長 現状は凝固剤で固めて燃えるゴミとしているが、環境汚染やCO2削減からも、調査検討をして、ごみの減量になれば実施を考えていきたい。

問 地方自治体の女性管理職の登用の低さが全国的な課題となっているが、まちの女性管理職の比

答 率は。町長 3・8%と低い値になっている。管理職を任せられるという女性がいれば登用するか。
町長 活躍できる人材を育成し、適材適所を念頭に積極的に登用していきたい。

問 未舗装道路のJR大久保第5踏切と瀬来踏切のわずかな間の道路舗装の早期実施を願う。

答 町長 日常生活に密着している町道は、重要な役割を担っており今後も鋭意努力する。

問 前浜バイパスが開通し、新坂東橋から降りた車が狭い農道に入り込

答 産業建設課長 普通車のすれ違いもやつの状況なので、安全対策については関係部署とも協議しながら検討していく。



大久保第5踏切未舗装区間



神宮 隆 議員

政府の農業協同組合の改革案は

答 農家にメリットのある農協が望まれる

問 まちの農業人口、平均年齢、農業産出額はピーク時に比較してどう

答 町長 農業人口は、昭和40年2655人、平成22年には476人に減少している。平均年齢は、平成22年は60・8歳。農業

産出額は平成17年では24億円と最盛期の6%以下になっている。

問 政府は、強い農業を創り、農家の所得を増やすため、農業協同組合制度などの改革を進めるとしている。改革案をどう考えるか。

答 町長 国は農業委員会の選挙・推薦制度を廃止し、市町村長が多様な人材から選任する仕組みを考えているが、

答 町長 地域の営農に即し、農家にメリットのある農協になることを望む。

問 国は農業委員会の選挙・推薦制度を廃止し、市町村長が多様な人材から選任する仕組みを考えているが、

答 産業建設課長 国の改革に適正に対応していきたい。

問 遊休農地・耕作放棄地の解消対策は。

答 町長 「農地中間管理機構」への貸付を誘導して、解消を目指したい。

問 新規就農者、農業生産法人の育成・支援対策は。

答 町長 国・県の支援策も考慮し検討したい。

誘拐未遂事件での警察への要望書は

職員の綱紀粛正、案内簿の厳重な管理を要望した

問 2月渋川署吉岡交番勤務の巡査が10歳の

女児誘拐未遂で逮捕された事件で、渋川警察署長にどのような要望書を提出した

答 町長 職員の綱紀粛正や世帯別案内簿の

厳重な管理を求める要望書



一部拡幅整備された町道上野田・下野田線

を提出した。渋川警察署長は「大変申し訳ない、全力で信頼回復に努めたい」と謝罪した。

問 教育長 今後も不審者対策訓練を実施し、防犯教育を徹底したい。

答 町長 職員の綱紀粛正や世帯別案内簿の

厳重な管理を求める要望書

ない。いじめの未然防止、早期発見、解消に取り組んでいる。

問 工事中の町道上野田・下野田線の供用開始はいつか。通学路でもあり交通安全対策は。

答 町長 今年3月中旬を予定。工事了後、

地元自治会などと対策を考えていきたい。

移転予定の明治支所





岩崎信幸 議員

急増する学童クラブの入所者への対応は

答 保育園などの協力を踏まえ、包括的に検討

問 急増する学童クラブの入所者に対して、施設を増やすか保育園など他の施設に協力を仰ぐのか。

答 町長 学童クラブへの申込みが27年度266人と急増する。施設の増築や保育園などの協力を

問 包括的に検討し進める。八幡山グラウンドの拡張計画は、スポーツ施設としては十分に満足できると思えないのだが。

答 町長 野球場、サッカー場、580坪の外周ラック、

コース、休憩場、イベントなど、多目的に活用する。天神東公園と緑地運動公園をファミリー

問 向に整備してはどうか。駒寄スマートIC周辺に商業系企業の誘致を

答 産業建設課長 ファミリーを含め誰もが利用できるよう備える。

問 東側に「新たな商業地のまとも」を形成



駒寄スマートIC周辺地域

問 駒寄スマートICの大型化にともない、もつと商業系企業の誘致するエリアを広げてはどうか。

答 町長 「中心となる商業地」とともに東側に「新たな商業地のまとも」を形成できるよう、土地利用の規制と誘導に取り組む。

問 線の整備・開発を行うべきと思うが。

答 産業建設課長 魅力ある資源を創りだし、今の場所と環境を生かしたあり方や人材を育成する。南下城山防災公園の完成が平成30年に延びた理由と進捗状況は。

問 30%に高めるよう取り組む。明治小北側の道路を安全のため拡張して

答 町長 事業費を毎年5千万円程度に押えるために延びた。進捗率は、事業費ベースでおおむね30%である。女性が輝ける社会を目指して、クオータ制を導入してはどうか。

問 クオータ制

答 町長 27年度に用地買収を、28年度に工事を実施する。

ミニ解説

クオータ制
政治における男女平等を実現するために、議員・閣僚などの一定数を女性に割り当てる制度。北欧諸国などで、法制化して実施されている。



明治第2学童クラブ（北下）

問 28年度上武道路の全線開通にともない沿

答 町長 事業費を毎年5千万円程度に押えるために延びた。進捗率は、事業費ベースでおおむね30%である。女性が輝ける社会を目指して、クオータ制を導入してはどうか。

問 クオータ制

答 町長 27年度に用地買収を、28年度に工事を実施する。



金谷重男 議員

8億円以上の公園計画だが

答 公園設置への要望を真摯に捉え整備している

問 自治体間競争が激化する中、8年で5つの公園計画を進めたが。

答 町長 行政を総合的に

計画的に運営してきた。公園整備も計画的に進めてきた。

問 8億円以上の防災公園計画になったが。

答 町長 町民の公園設置への意見・要望を真摯に捉え、南下城山防災公園を整備している。

問 防災公園は町民がイメージできているのか。

答 産業建設課長 一部防災機能を持たせ

る。



防災公園予定地

ば、防衛省の補助金を受けられることとなったため、桃井城址の歴史性、眺望を公園としたい。

昭和村は、民間サッカー場を誘致したが

インターの関係で民間の話も出てくるのでは

問 駒寄スマートIC西の新産業ゾーンの構想は。

答 町長 インターの大型化に取り組んでいる。優良企業の誘致できる環境を法的に整えている。

問 ポートピア進出計画中止後、まちの開発構想は無かったのか。

答 町長 ポートピアの話があつた一帯

は、農業振興地域で、まちの開発構想はなかつた。

問 前橋市は、駒寄スマートIC西に工業団地を計画している。まちも連携して工業誘致を進めたらどうか。

答 町長 前橋市と連携できれば進めたい。

問 伊香保を活用したトップセールスで西部地域は変わるのでは。

答 町長 伊香保を活用したトップセールスで西部地域は変わるのでは。

問 町長 渋川・伊香保・吉岡トライアングル構想を上げている。関越道上りサービスエリアほかで、農産物直売を兼ね、PR活動を5回実施した。

答 町長 昭和三村には、民間のサッカー場4面がある。東京から100キロの

魅力はPRしてできたものだが。

問 町長 駒寄スマートICの大型化改修も進んでおり、首都圏から民間の話も出てくることも予想される。グラウンドの話があればその時々で考えた

い。

い。



まちの大型商業施設



小池春雄 議員

5歳児健診の実施を

答 前向きな検討課題としたい

問

乳幼児健診は母子保健法で定められているが、5歳児健診は各市町村でまちまちである。17年度に施行された発達障害支援法の中では、地方公共団

体の責務として、発達障害児早期発見と早期支援が求められるようになったからである。

健診では、軽度の発達上の問題、社会性の発達におけ

る問題が明らかになり、就学前にそれら児童を発見し就学後の不適応を少なくするための支援であるので、早期に実施すべきだが。

答

町長 健診や相談には、専門員の確保が難しいことや、その他課題があることから前向きな検討課題とさせていただきたい。

学校給食費の無料制度の実施を

保護者の負担を軽減したい

問

27年度に給食費の値下げが実施されることは評価したい。県内各地でそれぞれの取り組みがされている。今後、無料化を目指した取り組みを。

答

町長 無料化に向けての努力をしたい。子育て支援策の一環として、第2子の保育料の無料化に取り組みべきと思うが。

答

町長 まちは保育料を低く設定しているので、第2子の無料化は考えていない。

問

社会福祉協議会に対し、高齢者福祉充実のために、資金提供を。

答

町長 相談、協調し福祉の向上を図っていききたい。防犯灯のLED化に伴い電気代が大幅に

答

削減されたので、自治会負担を無くしてもよいと思うが。

町長 まちでは自治会に対して各種補助料の負担をお願いしたい。



5歳児健診の実施を



卒園式（第5保育園）